

岐阜県産材を使用した割り箸を岐阜県社会福祉協議会へ寄贈
～2月3日(土)に可児市にて木製品寄贈式・節分イベントを実施～

株式会社バローホールディングス(本社:岐阜県多治見市、代表取締役会長兼CEO:田代 正美)と農林中央金庫(本店:東京都千代田区、代表理事理事長:奥 和登)は、岐阜県森林組合連合会(本部:岐阜県岐阜市、代表理事会長:洞口 博)と連携し、岐阜県社会福祉協議会(本部:岐阜県岐阜市、会長:森川 幸江)へ岐阜県産材を使用した割り箸1万3千膳の寄贈を行い、寄贈式とあわせて岐阜県内の「子どもの居場所」※を利用する親子向けに節分イベントを実施いたしました。

※子ども食堂や学習支援等、子どもたちが地域で安心して過ごすことができる施設の総称です。

株式会社バローホールディングスは、100年後の子どもたちに繋ぐ持続可能な社会づくりに取り組んでおり、これまでフードドライブポストの設置(ご家庭で必要がなくなった食品を寄付いただき、その地域で食品を必要とする団体へお渡しする活動)等を通じて、子どもの居場所づくりなどの活動を応援してまいりました。

農林中央金庫は、全国各地の森林組合連合会・森林組合と協力し、国産材を利用した木製品の普及を通じて森林・林業の発展に寄与することを目的とした「国産材利用拡大活動」にこれまで取り組んでまいりました。

今回、両社が連携のうえ、子どもたちの食育・木育につながる活動として本企画を実施いたしました。

寄贈した割り箸は岐阜県森林組合連合会が岐阜県産材を使用して製作したものであり、岐阜県社会福祉協議会(「子どもの居場所応援センター」)を通じて岐阜県内の「子どもの居場所」へ配布されます。木の温もりを感じていただくとともに、森林・林業について考えるきっかけとなることを期待しております。

寄贈式後の節分イベントでは、岐阜県内の「子どもの居場所」を利用する親子69名を対象に恵方巻づくり体験や豆まき等の催し物を行いました。恵方巻づくりではタマノイ酢株式会社(本社:大阪府堺市、代表取締役社長:播野 勤)監修のもと、親子で協力して恵方巻をつくりその場で出来たての味を楽しみました。また、豆まきでは子どもたちが元気いっぱい豆を投げて鬼を退治し、1年の無病息災を願いました。



寄贈式の様子



豆まきの様子

【寄贈式・節分イベント実施概要】

1. 日時 : 2024年2月3日(土)
午前10時30分～午前11時00分 寄贈式
午前11時00分～午後2時00分 節分イベント(恵方巻づくり・豆まき等)
2. 場所 : バロー人材開発センター「嫩葉舎」
住所: 〒509-0234 岐阜県可児市大森奥洞989番1
3. 参加者 : 岐阜県社会福祉協議会
タマノイ酢株式会社
岐阜県森林組合連合会
株式会社バローホールディングス
農林中央金庫名古屋支店

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社バローホールディングス 管理本部 広報室 TEL:0574-60-0858
農林中央金庫 名古屋支店業務第二班 TEL:052-201-6112